

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業 きぼうっこ逆瀬川		公表日		令和 7 年 2 月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。					
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たしている。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		児童発達管理責任者と、訪問支援員が中心と なり、目標設定と振り返りを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を配布し、その結果について職員間で 話し合いを実施した。	今回は評価表の配布時期が遅くなってしまっ たため、次回からは配布時期を早めに設 定し、継続していく。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		従業員が意見を出し合う場として、ケース会 議を開催している。	引き続き、必要に応じてケース会議を開催 し、業務改善につなげていく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○		外部の専門家から定期的にコンサルテーショ ンを受けて、業務改善に努めている。	引き続き、コンサルテーションで学んだこと を業務改善につなげていく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		令和6年9月に実施された法人内研究発表会で 事業所の訪問支援の成果について発表した。	訪問支援員のスキルアップを目指し、積極的 に研修に参加する。	
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		子どもと保護者の要望を聞き、計画に反映さ せている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		放課後等デイサービスで直接支援にあたって いる職員が訪問支援として子どもの学校の様 子を観察し、課題抽出を行っている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		必要に応じて、ケース会議を開催し、訪問先 の担当者のニーズ把握を行っている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		保育所等訪問支援計画の標的スキルと、放課 後等デイサービス計画書の標的スキルを連動 させ、職員間で共有し、支援を行っている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的に、保護者、教員、子どもを対象とし たアンケートを実施することで、現状を確認 している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等 訪問支援の具体的内容」を踏まえ、支援内容 を設定するように心がけている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		職員間で共有している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		標的スキルの確認を行い、訪問時にスキルが 発動されているのか観察を行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		スキルが発動されていたか、新たな行動がな かったか振り返りを行っている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		尊重するように努めている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		訪問時の子どもの様子を記録している。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		(最低)6か月に1回モニタリングを実施し、 計画の見直しを行っている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		放課後等デイサービスで直接支援にあたって いる職員が訪問支援として参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部の専門家からのコンサルテーションを受けている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		伝えるように努めている。	日頃の子どもの様子をしっかりと観察し、訪問時に気付いたことを保護者にしっかり伝えることができるようにする。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問開始時に書面にて説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもが安心・安全に学校に通うことができるように、学校生活における子どもの意向の聞き取りを行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画の説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、面談の機会を設け、相談支援を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて、面談の機会を設け、相談支援を実施している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人のホームページで情報を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に、保護者に個人情報の取り扱いについて説明している。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、メモ・絵カード・スケジュール等を提示し、分かりやすく伝えるように気をつけている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		相談を受けた際は、必要な助言を行うようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		必要に応じて、連携会議を実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		書面で報告を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		応用行動分析学をベースに、子どもの行動について説明を行っている。	信頼関係を築けるようにコミュニケーションを図る。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応マニュアル（災害、事件、事故、自殺、苦情）を策定している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		BCPを策定している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故等があった場合は、記録に残し、法人内、事業所内で情報共有し、改善案を検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部講師を招いた法人内研修に参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				